



滋賀銀行における

ITの戦略的活用について

2007年 2月 16日

株式会社 滋賀銀行

システム部

1. 滋賀銀行のIT戦略(実績)

1. 1. ITへの取組実績

- 1. 1. 1. しぎんのデータ
- 1. 1. 2. チャネル戦略
- 1. 1. 3. 取組年表
- 1. 1. 4. システム構築のシナリオ
- 1. 1. 5. システムの全体像

1. 2. 個別チャネルシステム

- 1. 2. 1. ダイレクトチャネル
- 1. 2. 2. 渉外チャネル(攻略支援システム)
- 1. 2. 3. 融資業務(融資支援システム)
- 1. 2. 4. 営業店システム(CRM支援システム)

1. 3. 新事務棟

- 1. 3. 1. 新事務棟のコンセプト
- 1. 3. 2. BCPの観点
- 1. 3. 3. CSRの観点(ISO14001環境・省エネルギー一面)

2. 滋賀銀行のIT戦略(これから)

2. 1. 次期基幹系システムの更改

- 2. 1. 1. 更改の選択肢
- 2. 1. 2. 更改の概要(勘定系+情報系)
- 2. 1. 3. 機能要件

2. 2. 次世代への取組

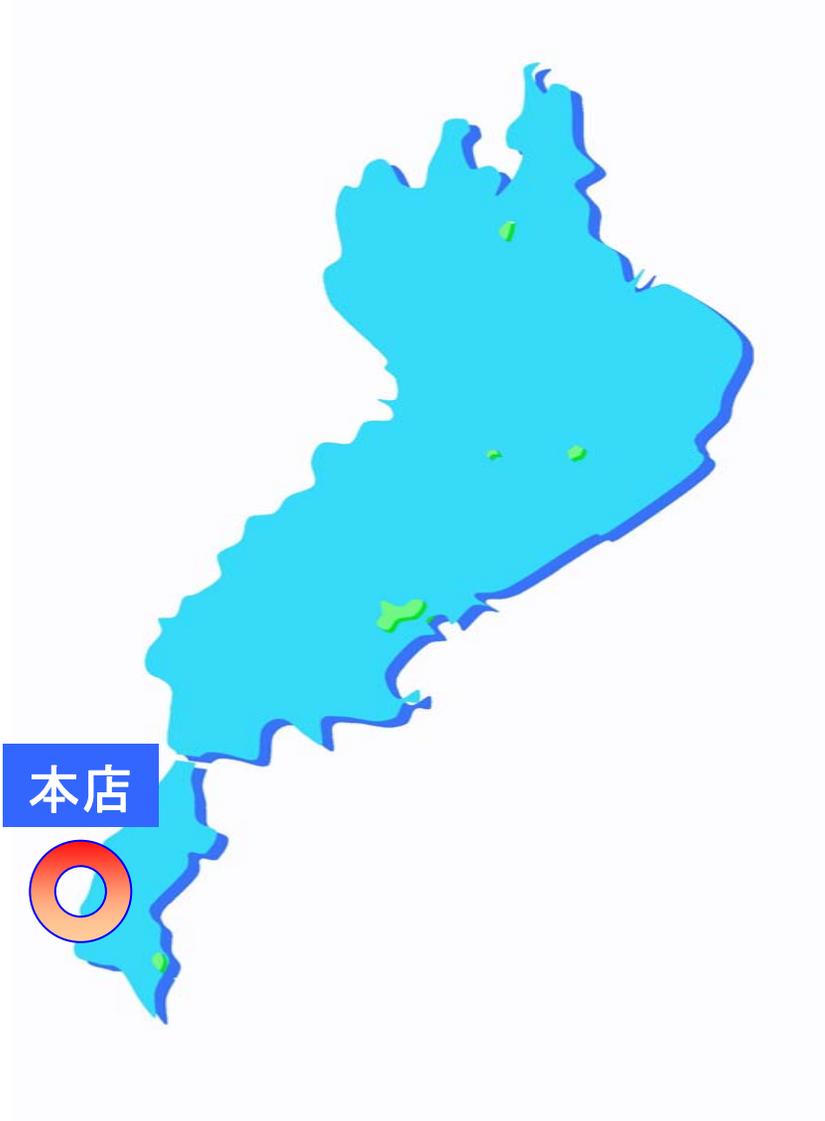
- 2. 2. 1. 財務の視点
- 2. 2. 2. 人材育成の視点
- 2. 2. 3. お客様の視点
- 2. 2. 4. ビジネスプロセスの視点

以上

1. 滋賀銀行のIT戦略(実績)

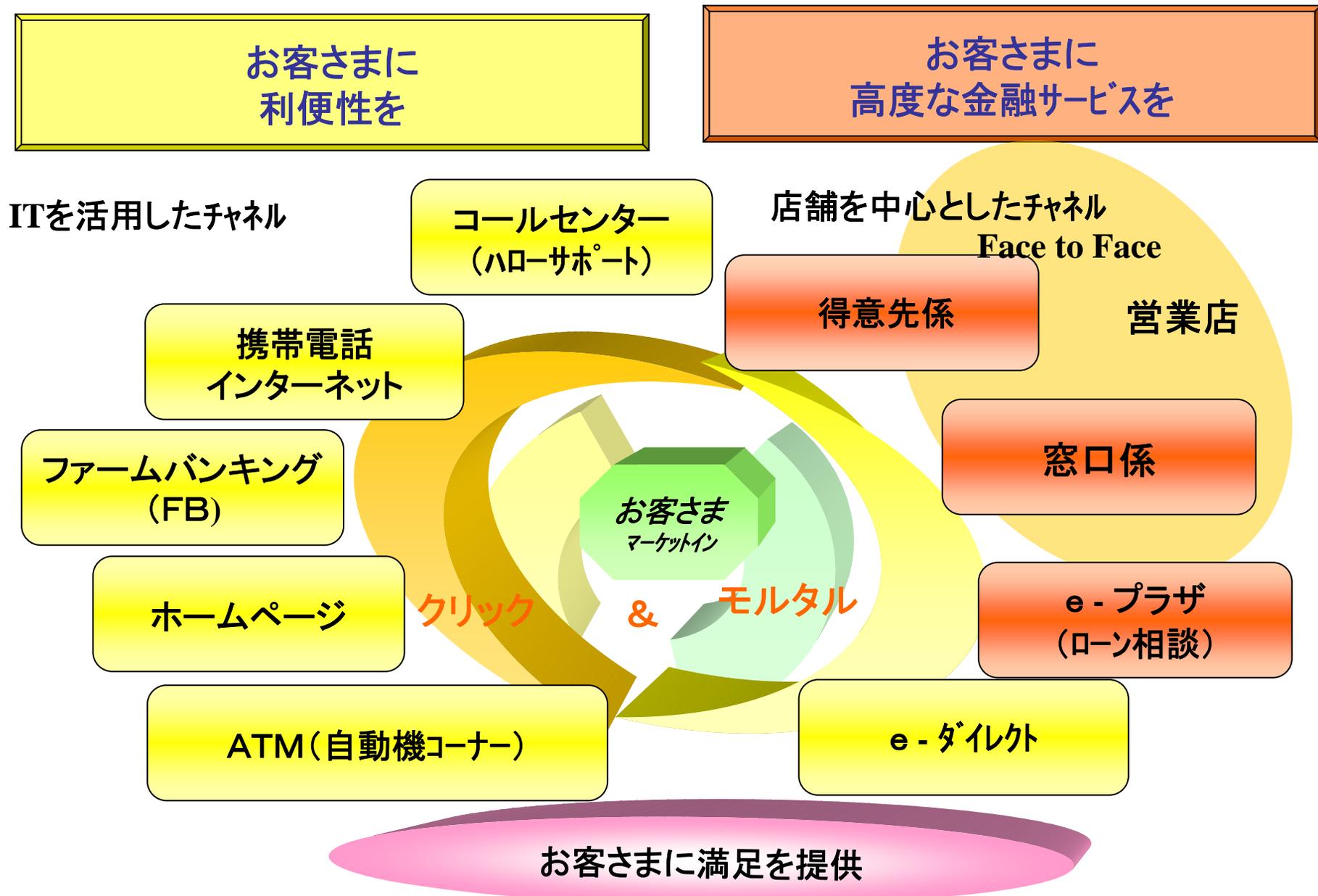
1. 1. ITへの取組実績

1. 1. 1. しがぎんのデータ



本店所在地	滋賀県大津市
設立	昭和8年10月1日
総資産	4兆 637億円
資本金	330億円
預金残高	3兆6,104億円
貸出金残高	2兆4,160億円
従業員	2,262人
店舗数	134店舗

1. 1. 2. チャネル戦略



1. 1. 3. 取組年表

- ・96年 1月 マルチメディア委員会立ち上げ
- ・98年 3月 イントラ「夢現ネット」稼動(2,000台のパソコン配布)
～99年 1月
- ・99年 9月 モバイル・インターネットバンキング本格稼動
・99年10月 DBMシステム本番運用開始
- ・00年12月 テレホンバンキングシステム稼動
- ・01年 5月 融資支援システム稼動
・01年12月 『しがぎん』ダイレクトスタート(IB・MB・TBの統合)
- ・03年 5月 『しがぎん』Bizダイレクト稼動
- ・04年 4月 新営業店システム試行開始
- ・06年12月 新事務棟竣工
- ・08年 1月 次期基幹系システム更改予定

次期基幹系システム構築 (2008年1月稼動予定) のねらい

- ◆システムの全体最適
- ◆経営戦略のサポート(柔軟性と拡張性)
- ◆勘定系/情報系/営業店システムの三位一体
- ◆次世代に向けたシステム基盤構築と人材育成

営業店システム '05~
事務効率化と
セールス機能強化

チャネル・業務系拡充 '00~
お客さま向け(テレバン、インターネットバンキング)
行内向け(融資/攻略/CRM支援)

データウェアハウス「DBM」'99~
お客さま中心データモデル
を採用したデータハブ

DBM(Data Base Marketing)

イントラ「夢現ネット」'98~
高速LANとPC1人1台配備

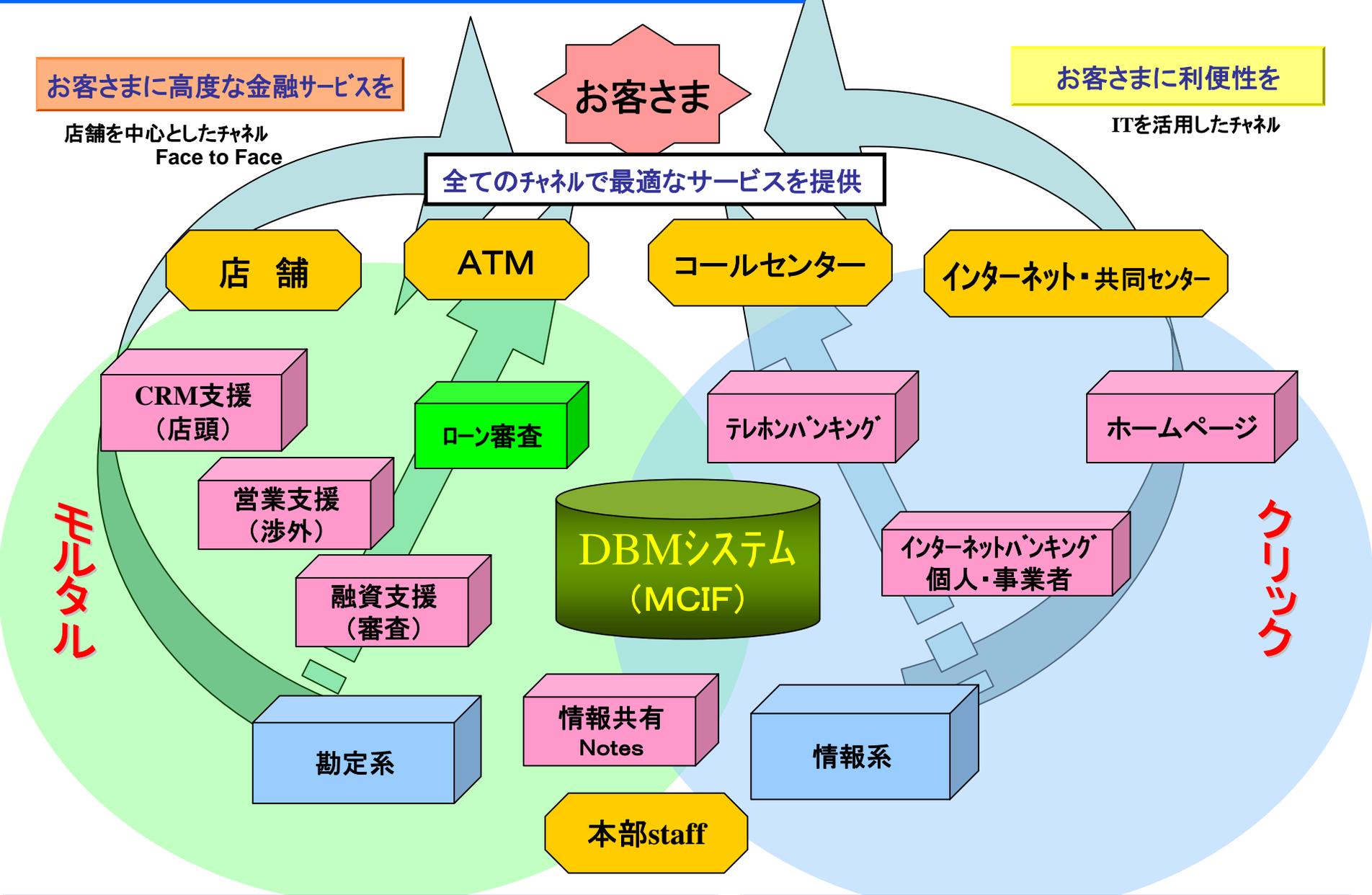
オープン基盤

情報系
収益管理を中心とした
戦略基盤

勘定系 '88~
3次オン稼動後、
段階的に拡張

メインフレーム基盤

1. 1. 5. システムの全体像(チャネルを支援するシステム)



チャネル間の情報連携で、タイムリーで継続したコミュニケーションを実現

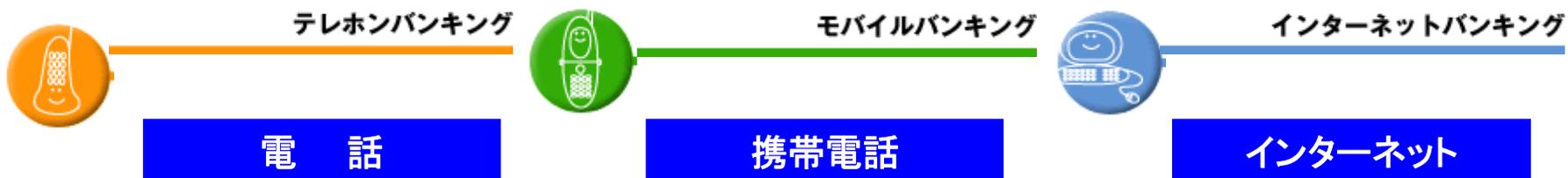
データハブとしてDBMシステム(MCIF)を活用したCRM

1. 滋賀銀行のIT戦略(実績)

1. 2. 個別チャネルシステム

1. 2. 1. ダイレクトチャネル

◇『しがぎん』ダイレクト(個人向け)



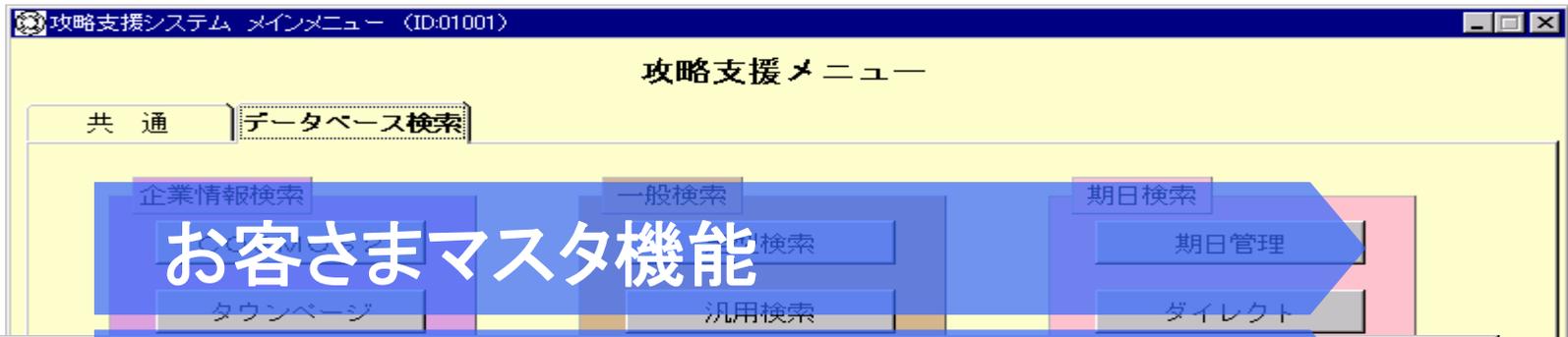
◇『しがぎん』Bizダイレクト(法人向け)



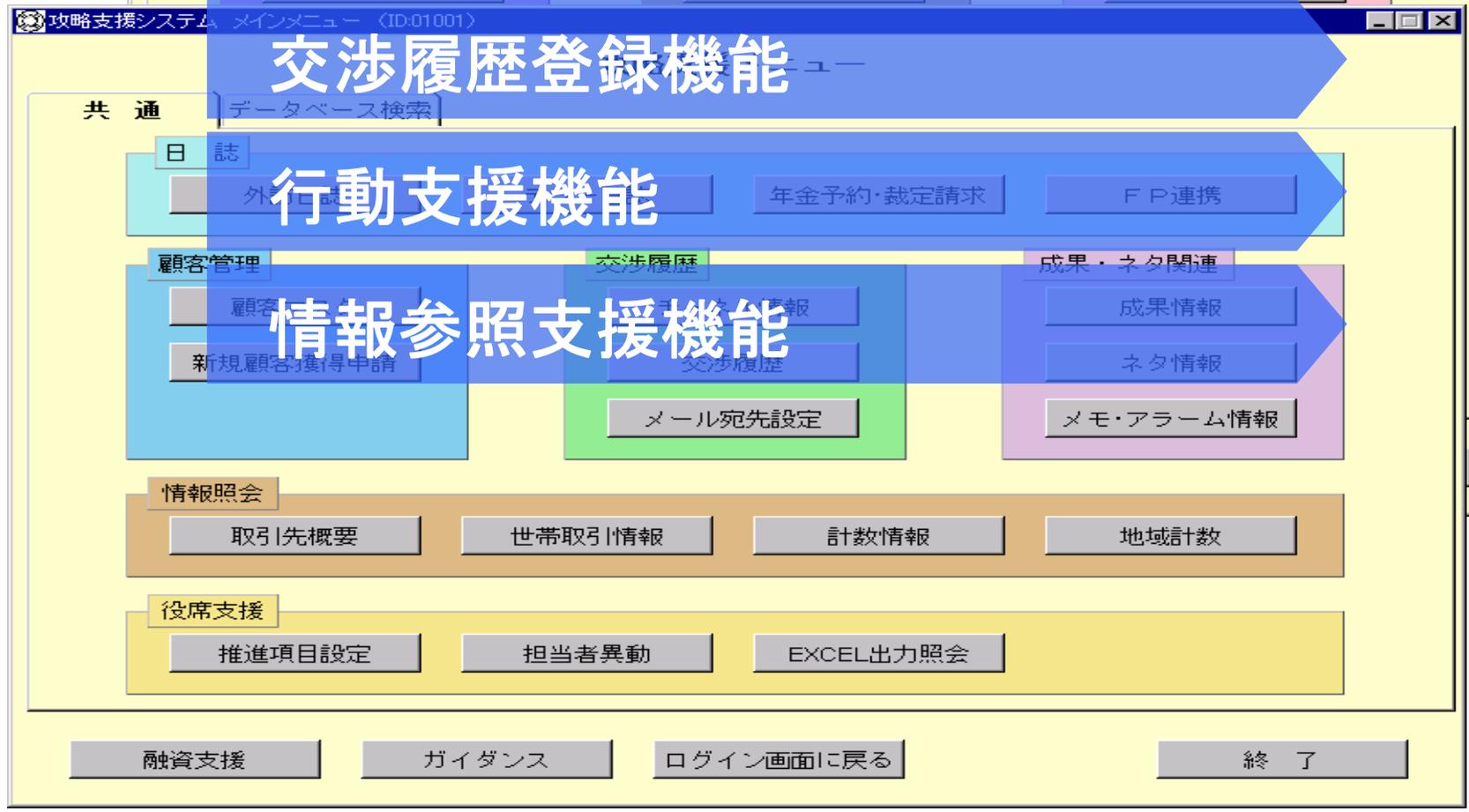
◇e-KEIBUN(経営者支援サイト)



1. 2. 2. 渉外チャネル(攻略支援システム)



お客さまマスタ機能



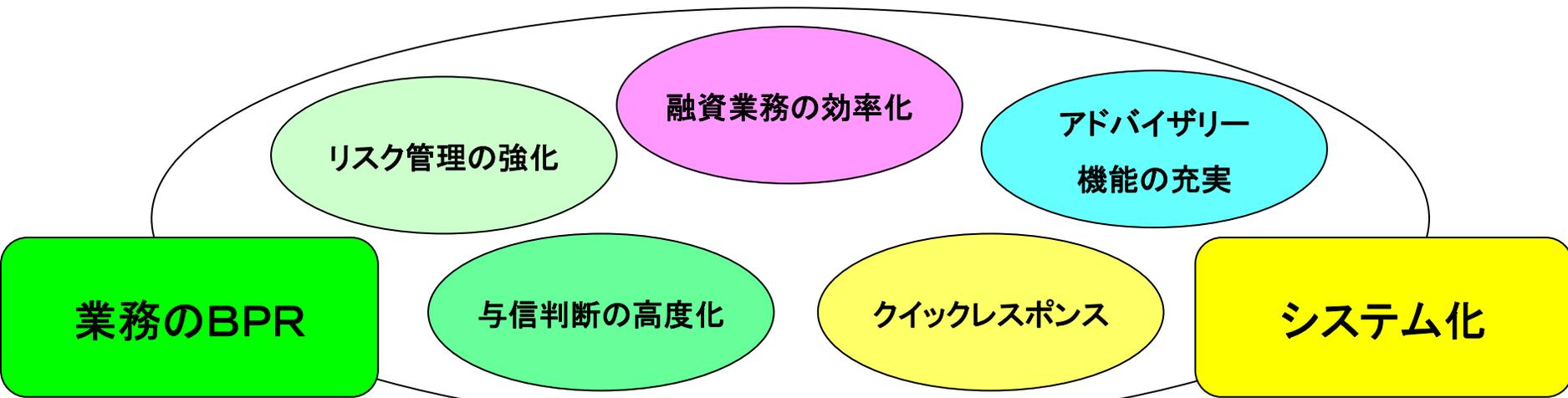
交渉履歴登録機能

行動支援機能

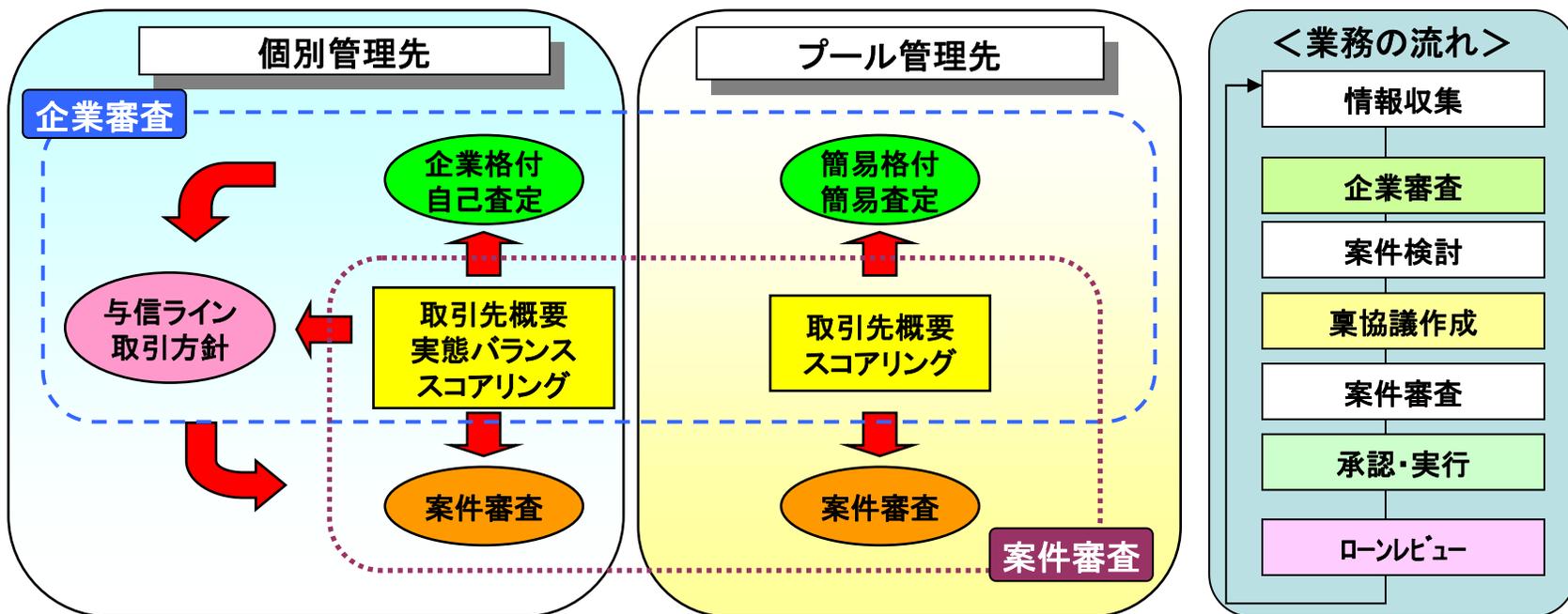
情報参照支援機能

1. 2. 3. 融資業務(融資支援システム)

◇融資BPRの方向性



◇基本的な考え方



1. 2. 4. 営業店システム(CRM支援システム)

◇ハイカウンター支援機能

事務の堅確化

事務の効率化

シンボルでお客さまの取引を表示

COMPOSHOP for Web - Microsoft Internet Explorer

104989:近藤 綾子 開局

RQ 02010 普通預金 入金

店番 312 口座番号 583446 [切手区分]

前残 497,130

頁数 6

10: 現入
20: 振入
7*: 当所
8*: 他所1
9*: 他所2

キー
押下
状態

複合
入金

約
支払

手扱
訂正

画面
継続

照会
終了

基本			
補助1	クリア (確認)	キャンセル	収支
7	8	9	取引 制御
4	5	6	
1	2	3	エンタ (資金)
0	000		

2004-1-19 Mon 14:25

F7:出納帳 F8:役席取引 F9:取消 F10:前日勘定 F11:無通帳 F12:MSなし
F1:コピー F2:コードヘルプ F3:センタ情報 F4:換補 F5:前画面 F6:次画面

近江 太郎 様

ご提案商品

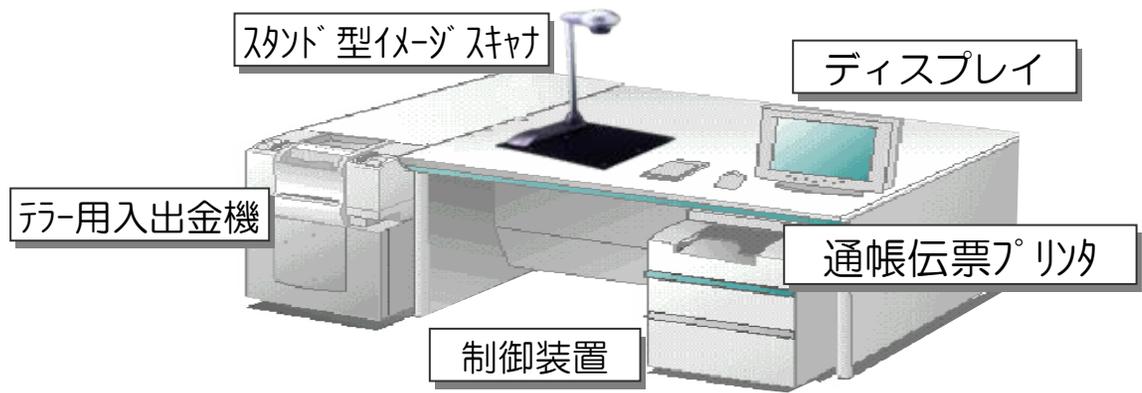
自動積立

顧客プロフィール

交渉履歴

メインメニュー

コード検索



◇ローカウンター支援機能(相談業務サポート)

CRM支援システム 顧客プロフィール - Microsoft Internet Explorer

マイページ 標準ページ

世帯取引・残高 トピック・期日管理 ナビゲーション 預金・資金・借入 チャンネル・契約

端末情報保存 印刷 他行預り資産 登録一覧 ④他行預り資産 保存 コピー(Ⓜ→) 再計算 閉じる

店番 110 CIF 1234567 氏名 滋賀 太郎 (お父様)

生年月日 1953/08/09 (52歳) 性別 男 電話 0779998888

住所 滋賀県 大津市 浜町 1-38 分類 会社員 オプトアウト

○『しがぎん』ダイレクト会員情報

○ダイレクト契約情報

契約日	都度限度額	事前限度額	振替限度額
2003/03/24	100万円	300万円	1,000万円

○サービス指定口座・家族口座情報

店番	科目	口座番号	口座種別
110	普通預金		

○振込先口座情報

銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義
該当情報なし				

●チャンネル利用状況 【2005年9月～2005年11月】

チャンネル	利用日数			最終利用日	備考
	9月	10月	11月		
窓口	1	0	2	2005/12/30	大津駅前
外交	2	0	0	2005/12/29	近江 次郎
ATM	8	6	6	2005/12/29	未登録端末
ウェブATM	0	0	0	2005/02/20	

予約資産ポートフォリオシミュレーション [PFS00100] (窓口1) - Microsoft Internet Explorer

端末情報保存 印刷 他行預り資産 登録一覧 ④他行預り資産 保存 コピー(Ⓜ→) 再計算 閉じる

店番 110 CIF 1234567 氏名 滋賀 太郎 (お父様)

生年月日 1953/08/09 (52歳) 性別 男 電話 0779998888

分類 会社員 オプトアウト

○契約管理情報

総合口座	あり	110	大津駅前	280413	1983/07/01
Web口座	なし	110 <td>大津駅前 <td>280413</td> <td>【切替不可】 代理人CD付あり</td> </td>	大津駅前 <td>280413</td> <td>【切替不可】 代理人CD付あり</td>	280413	【切替不可】 代理人CD付あり
ダイレクト	あり	110 <td>大津駅前</td> <td>280424</td> <td>【切替可能】</td>	大津駅前	280424	【切替可能】
JCB	あり	110 <td>大津駅前</td> <td></td> <td></td>	大津駅前		
決済用預金	なし				
特定口座	なし				
投信口座	あり	110	大津駅前	11000123456	2002/02/25
債券口座	なし				
	9月	10月	11月		
1 大津駅前			大津駅前		
2			中町		
	9月	10月	11月		
1 中町出張所	中町出張所	中町出張所	中町出張所		
2 中町出張所	大津駅前支店	西武ネットサービス			

当行資産 + 他行預り資産 (単位: 千円)

当行資産	計(②+④)	%	金額	ご参考ポートフォリオ の最終ご提案	差額(⑤-⑦)
0	7,368	10	1,534	7,368	0
0	0	0	0	0	0
0	0	20	3,067	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	30	4,601	0	0
0	3,537	0	0	3,537	0
0	4,081	30	4,601	4,081	0
0	351	10	1,534	351	0
0	0	-	0	0	0
0	15,337	-	-	15,337	0

①金融資産ポートフォリオ
②家計簿診断シート
③ライフプランシミュレーション

登録」ボタン押下... 詳細情報として登録されます。

情報把握 + **提案支援**

①取引情報 ②世帯情報 ③行動情報 ④提案情報 ⑤交渉履歴

お客様の
預り資産ポートフォリオ

お客様の
サービス契約情報と
チャンネル利用状況

交渉履歴登録機能

セールナビゲーション機能

投信業務フォロー支援

1. 滋賀銀行のIT戦略(実績)

1. 3. 新事務棟

1. 3. 1. 新事務棟のコンセプト



平成18年12月20日竣工

建築面積567㎡ 延床面積4,678㎡
基礎免震構造の地上9階建



免震ゴムアイソレータ



鋼材ダンパー



鉛ダンパー

設計コンセプト

自分の城は自分で守るという自己責任原則

BCPの観点

大規模災害にも耐えられるインフラ構築

CSRの観点

地域を代表する金融機関としての社会的責任

1. 3. 2. BCPの観点

地震対策

基礎免震構造による建物

電力事故対策

電源設備の二重化、
自家発電設備

落雷対策

避雷設備

大規模災害対策

給水備蓄

火災対策

超高感度煙感知器

1. 3. 3. CSRの観点(ISO14001環境・省エネルギー面)

建築関係

3R品を使用し環境配慮
(リデュース、リユース、リサイクル)

電気設備

省エネルギー機器採用

太陽光発電設備

年間約1.4トンの二酸化炭素
の排出削減

空調設備

オゾン層破壊計数ゼロの
新冷媒を使用

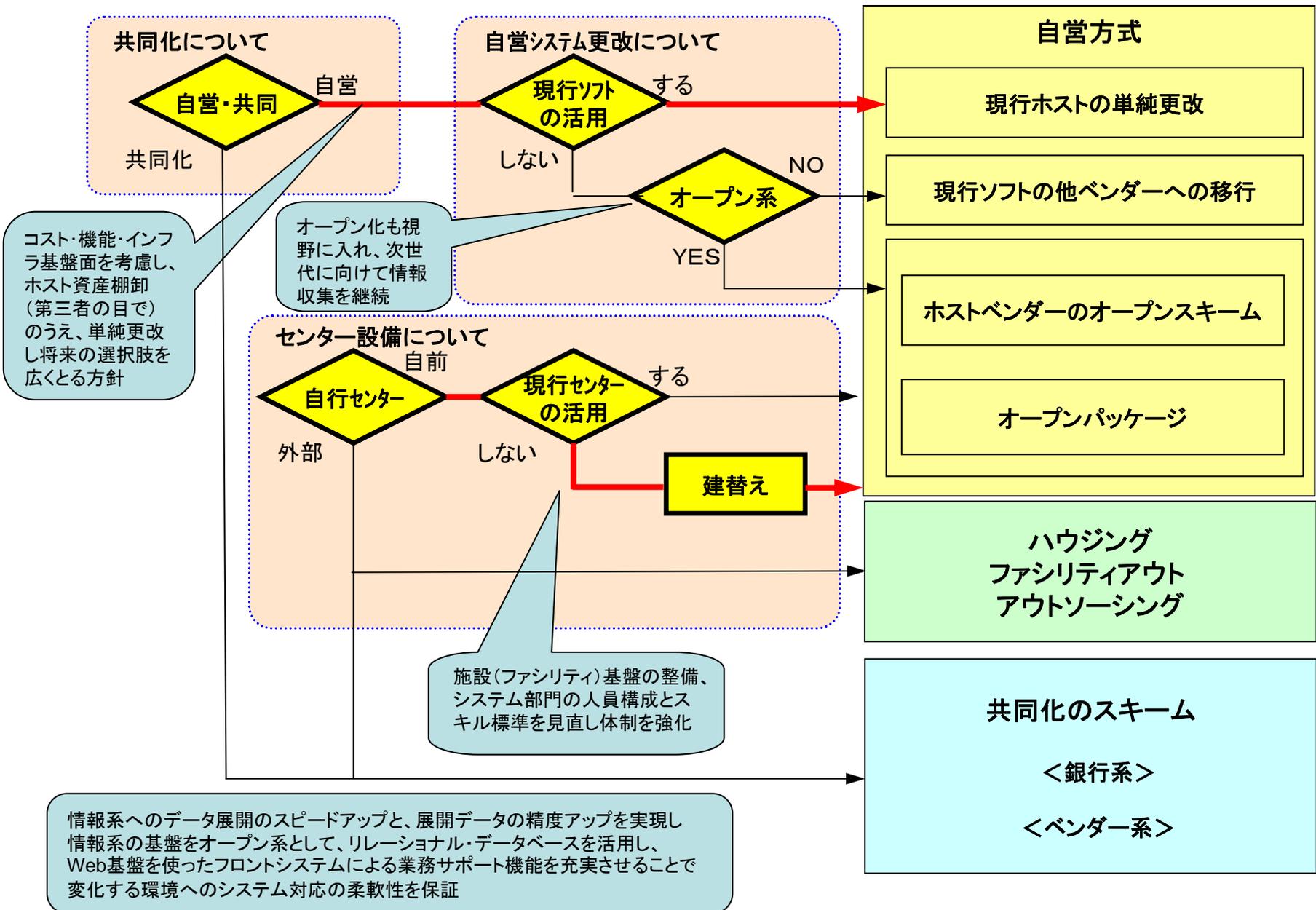
消火設備

窒素ガス消火設備導入

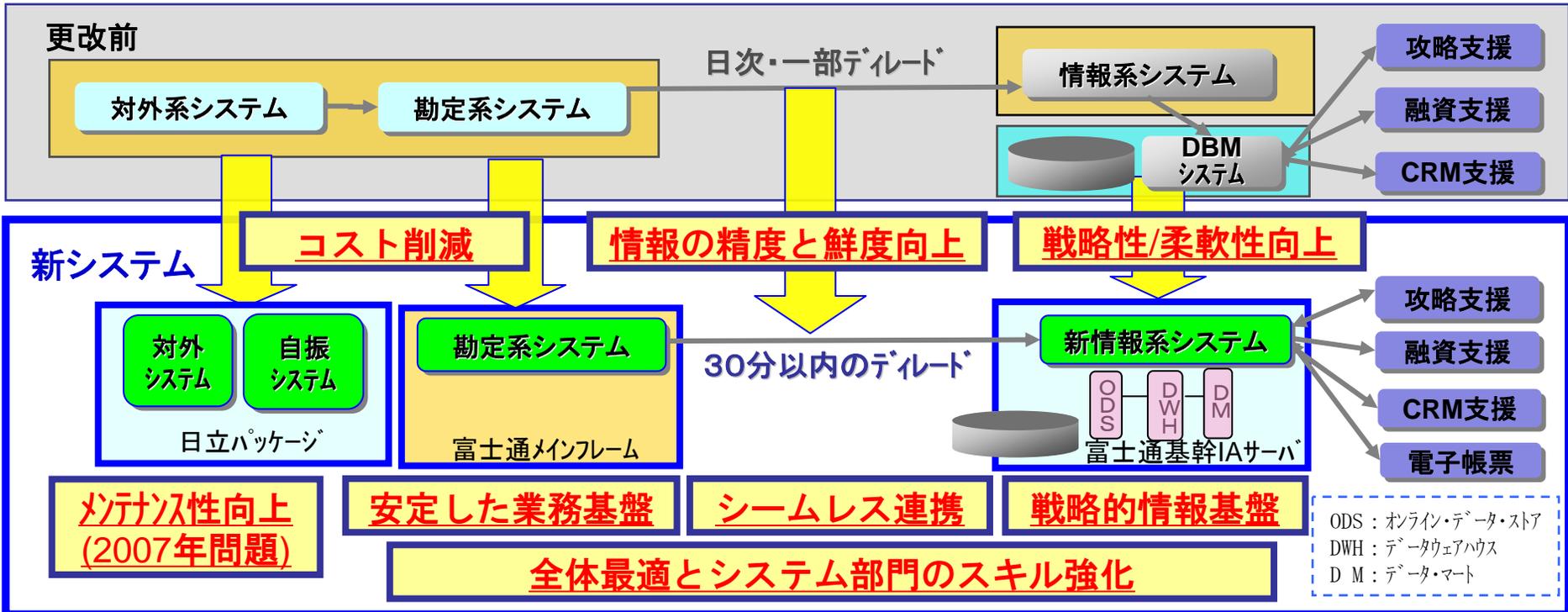
2. 滋賀銀行のIT戦略(これから)

2. 1. 次期基幹系システムの更改

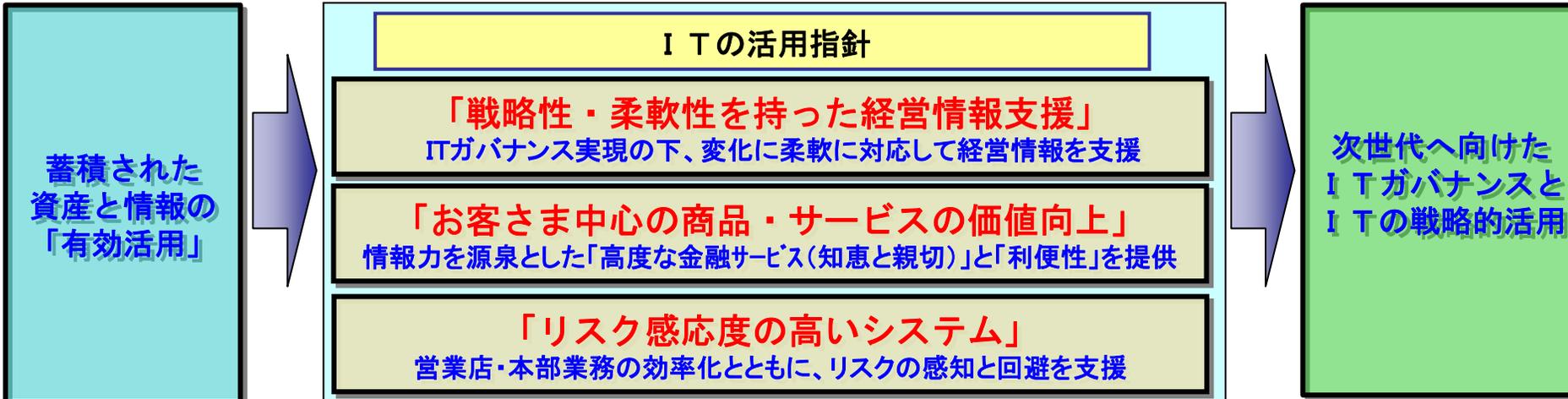
2. 1. 1. 更改の選択肢



2. 1. 2. 更改の概要(勘定系+情報系)



ITに求める価値のパラダイムシフト(情報処理から情報活用へ)



2. 1. 3. 機能要件

◇戦略性・柔軟性を持った経営情報支援

科学データを利用した経営支援

- ・変更になった業務プロセスを反映
- ・施策をモニタリングする仕組みを支援

業務把握の経営情報をレベルアップ

- ・データの鮮度(スピード)のレベルアップ
- ・データの精度(正確性)のレベルアップ

財務会計データの充実

- ・勘定更新の明細ログデータを充実
- ・管理会計と財務会計の整合データを提供

Basel II 後の業務運営をサポート

- ・業務計画・予実管理・収益シミュレーションの支店サポート
- ・信用度基軸の切り口による本部分析
- ・信用コストを加味した長期・ALM・業計シミュレーション

◇お客さま中心の商品・サービスの価値向上

お客さま中心データモデルの充実

～「高度な金融サービス(知恵と親切)」の情報基盤

- ・お客さまの取引継続性保証(履歴充実と長期保有)
- ・名寄(全店名寄・世帯名寄・勤務先名寄)

情報系で業務支援

～「高度な金融サービス(知恵と親切)」のための情報活用

- ・お客さま向け情報支援システムへの情報提供
- ・店頭でのナビゲーションや業務モニタリング

サービス時間の拡大

～各チャネルでの「利便性」の提供

- ・勘定系の24時間365日稼働をサポート
- ・インターネットバンキングの24時間対応レベルアップ
- ・休日(eプラザ等)のお客さま向情報支援の基盤充実

◇リスク感応度の高いシステム

セキュリティの向上

- ・お客さま情報の漏洩対策を充実
データ暗号化、権限管理強化、監査証跡取得による牽制
- ・外部からの侵入やシステム破壊対応
センターセキュリティの強化、ファイアウォール機能の充足

内部統制環境の構築

- ・IT全般統制(ITの統制:間接統制)
- ・IT業務処理統制(ITによる統制:直接統制)
- ・業務企画運営
監査証跡を業務モニタリングに利用し、リスク評価・業務効率化へのPDCA運営を支援

2. 滋賀銀行のIT戦略(これから)

2. 2. 次世代への取組

2. 2. 1. 財務の視点

機械化検討小委員会の取組

- ◇各部案件にかかる事前相談フローの確立
 - ・上流設計から参画しニーズとシステムのバランスを最適化
 - ・RFPIによる競合でコスト削減と適正なコストの導出
- ◇システム基盤やシステム間連携の標準化検討
 - ・ITガバナンス(システムの全体最適)によるコスト削減
 - ・セキュリティレベルとコストのバランス

開発コストの見直しの取組

- ◇メンテナンスコストの見直し
 - ・マルチベンダー競合によるコスト削減
 - ・保守案件と投資案件の厳格管理
- ◇次期基幹系の棚卸による既存資源のスクラップ

2. 2. 2. 人材育成の視点

システム部の要員構成

- ◇次世代を担う人材の育成
 - ・次世代をマネジメントしていく中堅層の強化
 - ・次世代の主戦力となる新人層の育成
 - ・培ってきたノウハウの引継ぎ
- ◇新たな業務体制「Basel II 後」への対応

システム部要員の必要スキル

- ◇ITを統轄するための基本スキル
 - ・コミュニケーション能力(ベンダー・ユーザ・メンバー折衝)
 - ・ロジカルシンキング、プロジェクトマネジメント力
- ◇システム技術面でのスキル標準
 - ・システム開発運用、コンピュータシステム、データベース、ネットワーク、セキュリティ

2. 2. 3. お客さまの視点 (商品とサービスのレベルアップ)

システム機能のレベルアップ

- ◇サービスのご利用時間とご利用機能の拡大
- ◇安定したサービスの提供(システムの安定稼働)
- ◇安全なお取引の保証(セキュリティ面の強化)

データモデルのレベルアップ

- ◇お客さま中心データモデルの充実
- ◇データの鮮度・精度をレベルアップしてサービスに活用

2. 2. 4. ビジネスプロセスの視点

業務を支援するプロセスの可視化

- ◇IT統制と業務フロー
 - ・業務の手順(業務フロー)と情報の流れ(データフロー)が重要
- ◇ビジネスプロセス(営業戦略)見直しと業務フロー
 - ・多様化・複雑化した業務プロセスの効率的な構築
 - ・システムがサポートすべき業務プロセスへ最適なサポート
- ◇リスクコントロールと業務フロー
 - ・業務フローを可視化しリスクの評価・コントロールを構築

IT全般統制(システム部門のプロセス改革)

- ◇システム部門の開発・運用基準の見直し
 - ・公表されている他の基準とのFIT & GAP分析
- ◇部門導入システムの統制
 - ・部門導入のサブシステムをデータベース化して一元管理
 - ・パッケージ導入ルールを整備、運用マニュアル整備を支援
- ◇EUCの統制
 - ・重要業務で利用するスプレッドシートの掌握
 - 使用目的(業務目的、分析・管理目的、財務目的)
 - シート機能(電子ログ、関数計算、マクロ等アプリケーション)
 - ・スプレッドシートの統制管理支援
 - 変更管理、アクセス管理、バックアップ、ロジック検証